

令和4年度 第3回男女共同参画推進委員会 議事録

日時	令和5年3月28日（火） 開会：午前10時 閉会：午前11時
会場	中央公民館 2階 集会室
出席	足立明美委員長、岩淵養光副委員長、成田弘子委員、野中明子委員、辻美由紀委員、加藤光男委員、坂口麻美委員、佐原勝治委員、各委員事務局（室長・倉石、係長・庄野）
資料	資料1 審議会等の女性委員の登用状況 資料2-1 令和3年度男女共同参画関連事業報告調査 資料2-2 令和3年度DV関連事業報告調査 資料3 男女共同参画市民意識調査（案）

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 議題

(1) 審議会等の女性委員の登用状況について

審議会等の女性委員の登用状況について事務局から説明。

(2) 令和3年度男女共同参画事業の進捗状況について

令和3年度男女共同参画事業の進捗状況について事務局から説明

(委員) 中学生ヘデートDVの啓発冊子配布についてですが、DVがコロナ禍で増えているということをニュースで見て、蕨市も例外ではないと思います。そのような家庭にいる子どももいるかもしれないので、中学生に冊子で啓発することはとても良いことだと思います。一人ひとりがきちんと理解し、活用してもらうために、ただ配るだけではなく、先生が説明をして冊子を配布してもらいたいです。

(事務局) 担当課へ配布の際に申し伝えたいと思います。

(委員) 情報誌「パートナー」の特集「育児休業」について、とても分かりやすく掲載されていて良かったです。

(3) 市民意識調査（案）について

市民意識調査（案）について事務局から説明

(委員) 先日、蕨市男女平等市民会議で性的マイノリティの方についての勉強会を行い、一人ひとりが理解することがとても大切であるということを学びました。今回の調査に「性の多様性について」を項目に入れることで、知ってもらい、興味を持ってもらえると思うので良いと思います。

#### (4) その他

パートナーシップ制度について事務局から説明

(委員) パートナーシップ制度についての講演会を2回行い、参加はどうだったのか。また、東公民館と中央公民館の2か所で行った理由はあるのか。

(事務局) 東公民館で行った際は開催が日曜日だったため、40人と多くの市民の方に参加していただくことができた。中央公民館で行った際は、平日の日中だったため、市民の方の参加は若干少なかったが、職員の参加ができ参加者は47人であった。また、2か所で行った理由としては、市全体の一人でも多くの方にご参加いただきたいという思いで東口と西口で行った。

(委員) 昨年9月に町会の女性役員比率についてアンケートを行った。町会長は基本的に副会長を経験された方がなるため、女性町会長を増やすためには、副会長に女性になっていただきたい旨を説明。  
先日、ずっとコロナで行えなかった研修を町連で行った。防災紙芝居研修を行い、これまで女性の参加はほとんど無かったが、今回は21名の参加あり、女性が増えてきていて、男女平等が広がってきていることが分かり、とても良いことだと思う。研修で行った紙芝居は、聞くだけでなく見ることで分かりやすく良かった。防災に関しては、女性が特に活躍していただくよう配慮していただきたい。

(委員) 自分の地区は外国籍の方が増えてきていて、生活習慣などの違いがあり、男女平等に関する知識を広げることが難しいと感じる。

(委員) パートナーシップ制度について、今後、蕨市が積極的に動いていくことを感じられとても良いことだと思う。弊社の制度もLGBTQの方に配慮した見直しを行っている。こうして積極的に動き、当たり前になっていくことが大事であると思う。これからの取り組みを楽しみにしています。

(委員) 県内のパートナーシップ制度導入状況を昨日の新聞でたまたま目にし、残り4市が未導入であること、蕨市が来年度中に導入する予定であるこ

とを知った。

そして、先ほどの説明で蕨市でもこれから性的マイノリティの方への支援を進めていくのだなと思った。

また、DVの冊子配布について、近所に暴力をされる方がいた。暴力が当たり前になってしまい、当事者はDVに気づいていない場合があるので冊子を配ることは大切だと思う。

P T A 役員の男女平等についてですが、自分の時には、資料を作成するのは女性の仕事であるというのが、当たり前のような雰囲気だった。会長副会長などを男女平等で行うのは良いと思う。

育児休暇については、近所でおばあちゃんとお母さんと赤ちゃんが一緒に歩いているのを見てほのぼのした気持ちになれた。自分達の時代には、1人で育児をしなくてはいけなく戸惑い大変であった。男性が育児休暇をきちんと取得できることで、女性は産後とても有難いし安心できると思う。

(委員) パートナースhip制度勉強会に参加し、県内で制度が導入されていない自治体が少ないことを知った。そして、昨日の新聞で導入されていない市が更に減り、4市になっていて驚いた。蕨市は男女共同参画が進んでいるのだから、もう少し早く導入していただけないのかと思います。男性の育児参加については、若者だけでなく、50～60歳代の方の考え方も変えていく必要があると思う。上司の考え方が変われば、若者も育児参加がし易くなるのではないかと。

(委員) 若年層のDVが心配なので、若い人への啓発はとても大切である。

#### 4. 閉会